

「ウイズ・コロナ時代のまちづくり」(R2.7.20)での意見まとめ

概要

と き：令和2年7月20日（月）
 ところ：境港市役所 保健相談センター 講堂
 参加者：みんなでまちづくり推進会議委員11名



テーマ

- ①「ウイズ・コロナ時代ってどんな？」
- ②「どんな対応が必要？」
- ③「こんな今期の取組テーマはどう？」

- ①「ウイズ・コロナ時代ってどんな？」

機会	脅威
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の大切さを感じられる 地域にお金を落としたり ・地域密着 人と人とのつながり大事 ・今までとは違う発想の転換が出来る（自分で考える時間ができる） ・家でできることを考えるようになった ・デジタル決済で買い物スムーズ ・夜のまちに行かずに済む ・今まで進まなかった働き方改革が進まざるを得ない ・無駄な会議がなくなる→時間の有効活用 ・パソコンの使い方を少し覚えた ・Web や Facebook 等 SNS が活発になった ・外部（県外）の人に頼らなくてよくなった（自走化） ・家族との付き合いが増えた。家族を大切にするようになった ・必要な支援が少し必要な人へ届くようになった ・新しいことが増えて平等な機会・チャンスが増える ・密集地からの移住者受け入れ ・往来しなくても出来ること ・家にいる時片付けが出来る ・イベントがなくなり、代わりに家族団ら 	<ul style="list-style-type: none"> ・なんでもオンラインにすればよいと思っている ・飲食店にお客さんが来ない ・よその文化に触れることができない（井の中の蛙） ・地域コミュニティが希薄になってくる（人と人のふれあい） ・感染等で自分の生活が変わる。目に見えない恐怖心もある（家族、周りがかわる） ・職種によっては倒産の危険 ・境港で流行したら医療崩壊 ・一人暮らしのお年寄りが他の人と出会えない ・気持ちで動くという人間らしさが減る ・リーダー育成等ひとづくりの機会が減る ・感染拡大（往来地域を選ぶ） ・人がたくさん長時間集まると感染リスク高くなる ・人と近くで話すのが怖い ・漁業は基本密なので誰かがかかれば広がるかも ・水木しげるロードはインバウンドで成功していた。夢みなとターミナルを含め、どうなるか ・他県からの客にコロナをもらうかも

<p>ん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインで仕事。交通費、通勤時間が いない ・農業・漁業は感染リスクが低いのでアピ ールチャンス 	
--	--

②「どんな対応が必要？」

<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインビジネス用 →タブレット 施設（空き家とか）誠道小学校 ・境港高齢者多い何か工夫せんと！ ・同じ場所に集まって距離あけてオンラインの何か ・（人とのつながり、オンライン）良いとこどり！新しいこと提案チャンス！ ・オンライン交えながらリアルとオンラインで ・文化活動形かえる?? ・送迎で雇用生みだす ・ターミナルの活用 ・市民が楽しめる環境 ・市民宿泊！！地元をたのしむ ・国内でまわせる観光 経済国内でまわるように ・オープンな店をつくろう ・他の感染症への対策にもなる ・免疫をうまくつける ・研究施設を誘致（コロナが出ていない） ・無料WI-FIの設備をしっかりとる ・店の形を変える ・デジタル化への対応・設備を強化 ・環境（地形地理）が良いのをうまくつかう（人口密度、風のながれ） ・コロナにかかりにくい町宣言 ・境港に住みながら仕事・大学とかにアクセスできるような対策
--

③「こんな今期の取組テーマはどう？」

<ul style="list-style-type: none"> ・境港（自宅）にいながら仕事・大学など全国にアクセスできるまちづくり （WEBなど環境整備、人材。WEB社会と現実社会が重なれば繋がりがさらに強くなる） ・境港市民向けの境港情報発信（SNSとか）、色んな年代に対して…（高齢者の方とか 若者とか）、境港あれこれ（Youtubeとかで発信）、窓口の一本化
--